

8 日本の農業・林業・漁業とその変化

○日本の農業地域

平野部：水田が全国各地に分布

→東北地方の日本海側や北陸の平野部で()が盛ん

大都市周辺：()が発達

→新鮮さが求められる野菜などの生産が盛ん

※()とは、都市の消費者向けに、都市から距離の近い地域で行われる農業のこと

都市から遠く離れた地域：交通網の発達により、農作物を各地に運ぶことができる

→出荷時期に合わせて作物の生産を調整

→()や()を行う地域もある

※()とは、価格が高い時期に出荷するため、野菜などの成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法のこと

()とは、価格が高い時期に出荷するため、野菜などの成長を遅らせて出荷時期をずらす栽培方法のこと

日当たりがよい斜面や扇状地：()が盛ん

→涼しいところではリンゴなど、暖かいところではかんきつ類などを栽培

畜産：農業産出額が最も多く、大規模経営の農家が増加

→北海道地方では乳牛や肉牛、九州地方では肉牛や豚・鶏を多く飼育

→飼料の多くを輸入に頼るため、()が低い

＜主な農業地域の農業産出額の内訳(2018)＞

| | 全国 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国・四国 | 九州 |
|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 米 | 19.2% | 8.9% | 32.3% | 17.2% | 26.6% | 26.6% | 19.4% | 10.0% |
| 野菜・いも類 | 27.6 | 23.2 | 19.0 | 41.2 | 27.1 | 22.1 | 29.5 | 26.2 |
| 果実 | 9.2 | 0.4 | 14.1 | 3.6 | 14.5 | 17.2 | 15.5 | 7.0 |
| 畜産 | 35.7 | 58.3 | 31.0 | 30.6 | 20.1 | 24.2 | 30.3 | 46.4 |
| その他 | 8.3 | 9.2 | 3.6 | 7.4 | 11.7 | 9.9 | 5.3 | 10.4 |

○日本の農業の特色と課題

自然災害の影響→収穫量や価格が変動しやすい

海外からの安い農産物の輸入が増加→農業経営が厳しくなる

農業を目指す若い人が減少→農業に就く人の3分の2が65歳以上の高齢者

日本の農産物は品質が良く安全性が高い→国内外で高評価

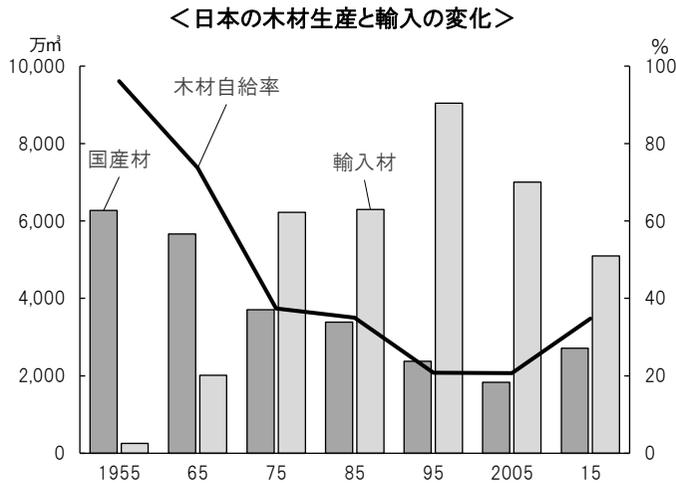
機械化による農作業の効率化→労働時間の短縮・収穫量の増加

○日本の林業と漁業の特色

日本の林業：日本の森林は約4割が人工林

→1960年代以降、海外からの木材輸入により、国内の林業が衰退

→近年では、国内産の品質のよい木材の見直しへ



日本の漁業：日本の周囲の海は暖流と寒流がぶつかる好漁場

以前の漁業：(**)と(**)が盛ん

→ロシアなどの国が漁業権を主張し、遠洋漁業の漁獲量が減少

→日本近海の不漁により、沖合漁業の漁獲量が減少

※()とは、遠く離れた海域で行う漁業のこと

()とは、およそ 200 海里以内の海域で行われる漁業のこと

現在の漁業：魚介類の確実な供給のため、(***)や(***)が行われる

※()とは、魚介類をいけすなどで育てて増やす漁業のこと

()とは、稚魚や稚貝などを放流し、これらが育った時に収穫する漁業のこと

